

男女共同参画に関する国内外の動き

世界的に社会が変化するスピードも年々加速し、1900年代の最終年である昨年には、「男女共同参画社会基本法」が策定されました。本年は20世紀の最終年。来年からは21世紀です。

そこで、戦後から本年までの男女共同参画に関する国内外の主な動きを年表にしてみました。皆さんのこれまでの生活等を振り返りつつ、新しい時代を男女共同参画で暮らし、活動していくことについてお考えになられてはいかがでしょうか。

年次	世界の動き	日本の動き	京都府の動き
1945年(昭20)		・婦人参政権確立(46年女性39人当選)	
1946年(昭21)		・日本国憲法公布(47年施行)	
1975年(昭50)	・国際婦人年(目標:平等、発展、平和) ・国際婦人年世界会議(メキシコシティ)、「世界行動計画」採択		
1976年(昭51)	・国連婦人の十年はじまる(85年まで)	・民法等の一部改正施行(離婚の際の姓自由選択)	
1977年(昭52)		・「国内行動計画」策定	・女性政策担当窓口設置
1979年(昭54)	・国連第34回総会「女子差別撤廃条約」採択		・知事に京都府婦人問題協議会が「提言」提出
1980年(昭55)	・「国連婦人の十年」一平等、発展、平和一中間年世界会議(コペンハーゲン)		
1981年(昭56)		・民法一部改正施行(配偶者の相続分1/3から1/2へ)	・「婦人の地位の向上と福祉の増進を図る京都府行動計画」策定・公表
1982年(昭57)			・「京都府婦人海外研修」実施
1984年(昭59)		・母子世帯で離別が死別を上回る ・既婚女性のうち共働き女性が家事専業者を上回る	
1985年(昭60)	・「国連婦人の十年」一平等、発展、平和一ナイロビ世界会議(西暦2000年に向けての)「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」採択	・「国籍法」改正施行(子には父か母の日本国籍を与える) ・「男女雇用機会均等法」公布(86年施行) ・生活保護基準の男女差解消 ・「国民年金法」一部改正(86年施行:女性の年金権確立、被扶養の妻は保険料免除) ・「女子差別撤廃条約」批准	・ナイロビ世界会議NGOフォーラムへ女性6名を派遣
1987年(昭62)		・西暦2000年に向けての国内行動計画策定 ・「所得税法」の改正施行(配偶者特別控除制度創設) ・「アグネス論争」(子連れ出勤論争) ・有責配偶者からの離婚請求を条件付きで認める	・京都府婦人関係行政推進会議発足 ・京都府婦人問題検討会議設置(88年知事に行動計画に関する「提言」提出)
1989年(平成)		・日本初のセクハラ裁判、「セクシュアル・ハラスメント」が流行語に ・第15回参議院選挙で女性22人当選(マドンナ旋風) ・短大を含む大学進学率で女子が男子を初めて上回る	・「KYOのあけぼのプラン」策定・公表 ・女性政策課を設置 ・女性政策推進本部、京都府女性政策推進専門会議を設置
1990年(平2)	・「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論」採択	・合計特殊出生率が1.57とこれまでの最低(1.57ショック) ・大卒女子の就職率61%で男子と並ぶ	
1991年(平3)		・「育児休業法」の公布(92年施行) ・大卒女子の就職率61.8%で男子を上回る	
1993年(平5)	・国連世界人権会議「ウィーン宣言」採択(「女性の権利は人権である」) ・国連総会第3委員会「女性に対する暴力撤廃宣言」採択	・「パートタイム労働法」施行 ・中学で家庭科が男女共修(高校は94年)	
1994年(平6)	・国際家族年、カイロで国際人口・開発会議「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を宣言	・男女共同参画室設置 ・日本人女性初の宇宙飛行士、向井千秋さん宇宙へ	・京都府女性政策推進専門会議「プラン改定についての提言」提出
1995年(平7)	・第4回世界女性会議一平等、開発、平和一のための行動(北京)、「北京宣言及び行動綱領」採択	・「育児休業法」改正(99年施行:介護休業制度法制化) ・阪神・淡路大震災で被災者に女性問題顕在化 ・女子学生就職難「超次河期」	・府内初の女性市長(野田川町)誕生 ・第4回世界女性会議NGOフォーラムへ代表団を派遣
1996年(平8)		・「男女共同参画ビジョン」答申 ・「男女共同参画2000年プラン」策定	・KYOのあけぼのプラン改定 ・京都府女性総合センターを設置
1997年(平9)		・「男女雇用機会均等法」の改正 ・「介護保険法」の公布	
1998年(平10)		・「労働基準法」一部改正施行(女子保護規定撤廃)	
1999年(平11)		・「男女共同参画社会基本法」公布・施行 ・合計特殊出生率が1.38と過去最低 ・低価格ピルの発売がスタート	
2000年(平12)	・国連特別総会「女性2000年会議」(ニューヨーク)開催予定		・新女性行動計画策定予定(平成12年度中)

編集後記

会員の皆様にはそれぞれの分野で21世紀にむけてますます意欲的に活躍のごこと存じます。1999年度の活動をまとめた『てるびと』のあちこちからも皆様の人生の輝きが息づいているさまを感じます。そして21世紀は人としての強さ、やさしさを見失わず、きらきら輝く明るい社会にしていきたいものです。前号からの「ねっとわーきんぐ」、皆様の活動に感動しながら編集に臨んでいます。輪と和がさらに実感できる『てるびと』になればと心から願っております。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

発行責任者 海外研修KYOのあけぼの会
役員一同

表題「てるびと」は、京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)「あけぼの」の意味です。京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」しだれ桜、さが菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。を戸塚フランス刺しゅうで表現したものを表紙絵としています。

▶ 1999年度総会及び研修会 ◀

日時 平成11年4月30日(金)午後1時30分～
会場 京都府国際センター研修室

★総会

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 議 事
 - ① 1998年度事業報告
 - ② 1998年度収支決算報告
 - ③ 1998年度会計監査報告
 - ④ 役員選出
 - ⑤ 1999年度事業計画(案)審議

※11月 体験研修
※10月15日・16日

KYOのあけぼのフェスティバル

- ⑥ 1999年度収支予算(案)審議
- ⑦ その他

6. 新入会員紹介(自己紹介)
7. 閉 会

★研修会

テーマ 「日本とアメリカの女性に架ける橋」
パネラー 1998年度海外研修団員